

# 光先端医学教育研究センター 先進機器共用推進部

## 1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	15 人	
その他（技術補佐員等）	4 人	
合計	20 人	

## 2 教員の異動状況

内田千晴（准教授）（H25.8.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	8 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	23.59	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	2 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	7.04	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Shinmura K, Igarashi H, Kato H, Koda K, Ogawa H, Takahashi S, Otsuki Y, Yoneda T, Kawanishi Y, Funai K, Takayama T, Ozono S, Sugimura H: BSND and ATP6V1G3: Novel Immunohistochemical Markers for Chromophobe Renal Cell Carcinoma, *Medicine*, 94 (24), e989, 2015. [5.72]
2. Matsunuma R, Niida H, Ohhata T, Kitagawa K, Sakai S, Uchida C, Shiotani B, Matsumoto M, Nakayama KI, Ogura H, Shiiya N, Kitagawa M: UV Damage-Induced phosphorylation of HBO1 triggers CRL4DDB2-mediated degradation to regulate cell proliferation, *Mol Cell Biol*, 36(3), 394-406, 2015. [4.77]
3. Hameed S, Ikegami K, Sugiyama E, Matsushita S, Kimura Y, Hayasaka T, Sugiura Y, Masaki N, Waki M, Ohta I, Hossen MA, Setou M: Direct profiling of the phospholipid composition of adult *Caenorhabditis elegans* using whole-body imaging mass spectrometry, *Anal Bioanal Chem*, 407, 7589-7602, 2015. [3.57]
4. Shinmura K, Kato H, Kawanishi Y, Nagura K, Kamo T, Okubo Y, Inoue Y, Kurabe N, Du C, Iwaizumi M, Kurachi K, Nakamura T, Sugimura H: SASS6 overexpression is associated with mitotic chromosomal abnormalities and a poor prognosis in patients with colorectal cancer, *Oncology Reports*, 34 (2), 727-738, 2015. [2.30]
5. Shinmura K, Kato H, Kawanishi Y, Goto M, Tao H, Inoue Y, Nakamura S, Sugimura H: NEIL1 p.Gln282Stop variant is predominantly localized in the cytoplasm and exhibits reduced activity in suppressing mutations, *Gene* 571, 33-42, 2015. [2.14]

インパクトファクターの小計 [18.50]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Nozu R, Horiguchi R, Kobayashi Y, Nakamura M: Expression profile of doublesex/male abnormal-3-related transcription factor-1 during gonadal sex change in the protogynous wrasse, *Halichoeres trimaculatus*, *Mol Reprod Dev*, 82, 859-866, 2015. [2.52]
2. Kotake Y, Kitagawa K, Ohhata T, Sakai S, Uchida C, Niida H, Naemura M, Kitagawa M: Long Non-coding RNA, PANDA, Contributes to the stabilization of p53 tumor suppressor protein, *Anticancer Res*, 36(4), 1605-1611, 2016. [1.82]
3. Isoda H, Takehara Y, Fujino H, Sone K, Suzuki T, Tsuzaki Y, Miyazaki K, Fujie M, Sakahara H, Maekawa Y: Gel phantom study of a cryosurgical probe with a thermosiphon effect and liquid nitrogen-cooled aluminum thermal storage blocks, *Nagoya J Med Sci*, 77(3), 399-407, 2015. [0.75]

インパクトファクターの小計 [5.09]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Uchida C, Kitagawa M: RING-, HECT-, and RBR-type E3 Ubiquitin Ligases: Involvement in Human Cancer, *Curr Cancer Drug Targets*, 16(2),157-174, 2016. [3.52]

インパクトファクターの小計 [3.52]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Sakai S, Miyajima C, Uchida C, Itoh Y, Hayashi H, Inoue Y: Tribbles-Related Protein Family Members as Regulators or Substrates of the Ubiquitin-Proteasome System in Cancer Development, *Curr Cancer Drug Targets*,16(2),147-156, 2016. [3.52]

インパクトファクターの小計 [3.52]

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 27 年度
(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）	6 件 (162 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件 (0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(6) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件 (0 万円)

(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）

1. 堀口 涼（代表者）基盤研究（C）

「性転換魚の生殖原細胞における雌雄性調節機構の解明」

90万円（継続）

2. 太田 勲（代表者）基盤研究（C）

「高真空下における生物試料の生命維持機能の解明と宇宙環境への応用」

40万円（継続）

3. 足立直樹（分担者）基盤研究（C）

「性転換魚の生殖原細胞における雌雄性調節機構の解明」

20万円（継続）

代表者：堀口涼 浜松医科大学 実験実習機器センター 技術職員

4. 足立直樹（分担者）基盤研究（C）

「神経膠腫の悪性転化原因変異のエキソーム解析と血中分泌小胞分析による鑑別法の開発」

5万円（継続）

代表者：蓑島伸生 浜松医科大学 教授

5. 藤江三千男（分担者）基盤研究（C）

「NAFLD/NASHを背景とする肝細胞癌多段階発癌と分子標的薬介入による効果」

5万円（継続）

代表者：竹原康雄 浜松医科大学附属病院放射線部 教授

6. 藤江三千男（分担者）基盤研究（C）

「ペプチドによる胃癌標的治療薬に関する研究」

2万円（継続）

代表者：中村悟己 浜松医科大学医学部腫瘍病理学 特任研究員

## 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	1件
(6) 一般演題発表数	0件	

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 太田 勲 医学生物学電子顕微鏡技術学会 評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

## 9 共同研究の実施状況

	平成27年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	1件

(3) 学内共同研究

1. 内田千晴:RB ファミリーを中心とした細胞周期制御因子の分解と疾患発症機序の関連について (分子生物学)

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道